

6月15日号(No.1459)

4~5ページ

6~7ページ

10ページ

◆主な内容◆ (平成29年6月15日号)

盛岡・北上川ゴムボート川下り大会、ミスゆかたのま ち盛岡&ゆかたコンテスト募集、就農給付金制度

市立病院デー&成人検診、市民文化ホールのイベント 3ペ

情報、クールビズ&ライトダウン

各種講座情報

健康ガイド、子育て情報ひろば「カダッテ」 情報化時代に市の講座利用を

※「29年度版 検診だより」を折り込んでいます

「やるからには積極的にやるのがモットー」と意欲を語るのは、御展橋親交会で22年度からきれいなまち推進員を務める中村義彦さん(65・写真右)=大沢川原二=。ごみの分け方・出し方を地域の人に分かってもらおうと、収集日程表をラミネート加工したり、手作りのシールで工夫を凝らすなど、周知に力を入れています。また、日頃から、ごみの分け方・出し方をよく知らない人には優しく声掛け。「ごみの収集カレンダーをよく見ない人も多いから、直接働き掛けていくのが一番効果的だし、次から気を付けるようになってくれるとやりがいを感じる。ごみの収集カレンダーやごみ分別辞典をよく見てもらいたい」と笑顔で話します。

7月は、ごみの減量や資源の再利用、地球温暖化防止などへの取り組みを強化する「もりおかエコライフ推進キャンペーン」月間。市と市町内会連合会、玉山地域自治会連絡協議会、市きれいなまち推進協議会が一体となり、ごみ集積場所での立会い指導などに力を入れます。

盛岡のごみ処理は、町内会・自治会などが集積場所を設置・管理し、市が集積場所から収集するという協力体制で成り立っています。混ぜて出せばごみでも、分ければ資源。一人一人の行動が、きれいなまちの推進と地球温暖化の抑制につながっています。

もりおかエコライフ推進キャンペーン ごみの環母とにい出し方について知ってもらい、資源・エネルギーを効率よく使うライフスタ イルへの切り替えを呼び掛けます。主にのごか集 様場所のパトロールーなどの取り組みを強化します。 みんなで行ろう きれいなまち